

各ページにリンクを張ってWebサイトを完成させる

ここまでの作業でWebサイトを構成する要素が揃ったので、それらをリンクで相互につなぎ、サイトを完成させる。すべてのページに配置してあるナビゲーションバーのボタンをクリックして、各コンテンツにジャンプできるように指定しよう。

KEYWORD

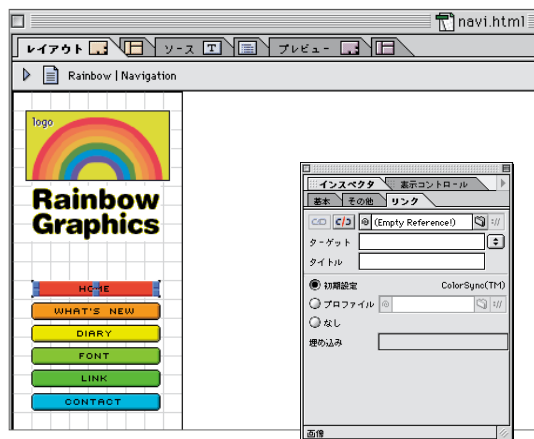
リンク

サイトウインドウ

ナビゲーションから 各ページにリンクを張る

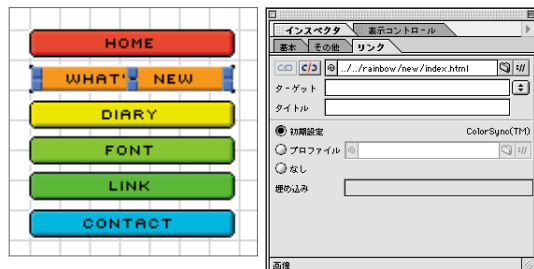
1 「HOME」ボタンにリンクを設定

最初に「サイトウインドウ」が拡張表示(左右に分割)されているか確認する。右側のウインドウにある「エクストラタブ」をクリックし「rainbow.data」フォルダとその内容を表示。「Components」フォルダに「navi.html」があるので、ダブルクリックして立ち上げる。この「navi.html」ページのナビゲーションバーにある「HOME」ボタンの画像をクリック。この操作でインスペクタは「画像インスペクタ」にかわる。ここで「リンクタブ」を選択し、チェーンのようなマークの「新規リンク」ボタンをクリックする(外部URLへのリンクについて説明した「STEP 8」も参照してほしい)。



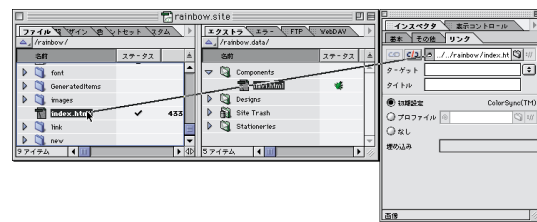
4 全部のボタンにリンクを張って完成

同じように、すべてのリンクを設定しよう。「WHAT'S NEW」ボタンは「new」フォルダの「index.html」に、そして「DIARY」ボタンは「diary」フォルダの「index.html」につなぐ、といった具合にリンクを張っていく。この作業が終われば、Webサイトの完成だ。



2 「ポイント&シュート」でリンクを張る

ここで「リンクタブ」の「ポイント&シュート」ボタン(渦巻きのようなマークのボタン)をドラッグし、「サイトウインドウ」にある「index.html」(オープニングアニメーションのトップページ)につなげてやる。これで「HOME」ボタンから「index.html」へのリンクは完了。



3 「navi.html」の内容が自動的に更新

「navi.html」はそれぞれのコンテンツに「コンポーネント」として配置されている。よって、「navi.html」のみを変更すれば、すべてのページにその変更が反映されているはず。ブラウザで確認してみよう。どのページでもよいが、ここでは「what's new」のページである「new」フォルダ内の「index.html」をチェックしてみた。このページには直接の変更は加えていないが、「HOME」ボタンを押せば、きちんとトップページのオープニングアニメーションに飛べるようになっている。



Webサイトを公開するための準備

Webサイト自体は完成したが、最後に重要な工程がある。それは、画像の配置ミスやリンクの設定ミスといったエラーの修正と、Webサーバへの接続準備。最後までしっかり確認作業を行い、Webサイトを公開しよう。

KEYWORD

エラータブ

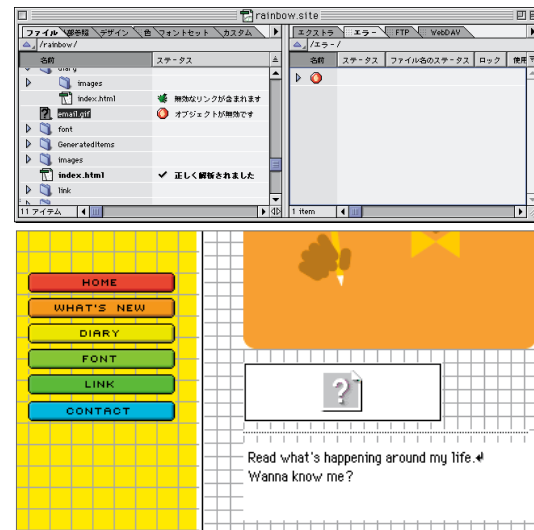
リンク警告

FTP

エラーチェックと FTP機能

1 エラーを示すアイコン

サイト内にエラーまたはエラーと思われるものがある場合、「サイトウインドウ」の「ファイルタブ」にエラーアイコンが表示される。緑色の虫のマークは「バグアイコン」といい、Webページに壊れたリンクが存在することを示している。赤い「中止」アイコンは不明ファイルがあることを指す。ほかに黄色い三角形をした「警告」マークもあり、これはページが空白であることを知らせるものだ。たとえば「diary」の「index.html」に「バグアイコン」が表示されたら、そのページ中になんらかの破損リンクがあるということ。実際にページを見てみると画像が配置されていないことがわかる。



3 Webサイトを公開するためのFTPの設定

初めてサーバに接続する場合は、サイトメニュー「FTPサーバ」→「接続」などでサーバ設定ダイアログを開き、必要な設定を行う。最低限必要なのは「FTPサーバ」の「サーバ」[ユーザ名][パスワード]の3つ。「ディレクトリ」は空白にすることが可能な場合もある。これらの情報はすべてサーバ管理者(または加入プロバイダなど)から提供されたものを入力する。このほかにも環境設定でネットワークの設定が必要な場合もあるが、提供された情報をもとにきちんと設定すれば難しいことはない。設定ができたなら、FTPサーバにWebサイトをアップロードする。これですべての工程は完了だ。

2 「リンク警告」でエラー部分を色で表示

ツールバーにある「バグアイコン」マークのボタンは「リンク警告」ボタン。これを押すと、エラー部分が色付きで表示されるのでわかりやすい。これをきちんと修正すると「サイトウインドウ」側に反映され、「バグアイコン」が「チェック」マークに変わる。なお付属CD-ROMにはエラー参照用に不明ファイルをあえて含めてある。「email.gif」がそれで、実際に「中止」アイコンが表示されているのがわかるだろう。このほかにもエラーチェック機能があるので、有効に活用したい。

